

概要版 令和元年度・第1回府中市行政経営プラン推進委員会

開催日時	令和元年8月20日(火) 14:00~16:10
開催場所	市役所4階 第一委員会室
出席委員	前山 総一郎、西奥 忠則、平田 光章、山根 健嗣、内海 和浩、天野 剛志、増井 博文、平 康太朗、薮本 敬士、堀 千奈美、布野 景子、大畑 乃愛 (欠席なし)
事務局	小野市長、村上副市長、栗根総務部長、岡田総務課長、皿田人事課長、宮財政課長、豊田政策企画課長、渡邊行政管理係長、総務課行政管理係 和田、平井

1. 主要な意見

○視点の上の概念がどうなりたいかをしっかりと与えて頂かなければ、それを具体化するための視点がいいのか悪いのか議論がしにくい。

○行政のメッセージはわかりにくいので、子どもでもわかるように翻訳していかないとフォロワーがパートナーになる関係はできないのではないかと。

○企業ではSWOT分析をしていて、市にとっての強みと弱み、機会と脅威を整理し掛け算することで戦略になると思う。

○広島県ではイノベーション、ロジカルシンキングのような勉強会をやっている。職員にはそのような勉強をして頂き、まちの付加価値をつけて頂きたい。

○職員も市のことをしっかり理解して頂き、外部から聞かれても対応できるような職員になってほしい。

○業務プロセスの見直しにICTの活用は避けて通れない。どこまでやっていくのかという目標設定と、IT人材の確保は難しい問題である。

○視点の計画ではなく、資料提供して具体的な議論をすることで、議論が深まり、将来的に府中市の発展のために行政は何をすべきかがでてくるのではないかと。

○選ばれる店になるためにどうすればいいか、悩んでおり、市も同じだと感じた。自分のまちのいいところをたくさん言えることが必要。

○行政サービスを提供する責任はあるが、今までの行政サービスをそのままやっていくのがいいのか、今後の課題である。すべてを行政がやるのかを含めて、議論する必要があると思う。

○財政健全化など、行政のプロ的な専門的な話は非常に難しい。議論を身のあるものにするためには、委員への要求の中身を明確にして頂きたい。

○これまでは専門家が効率化をしたりしてきたが、時代が変わって行政がビジネス化をする側面が出てきたり、今までの内部の人の知恵ではできない部分が出てきた。新しい転換が必要になると感じた。

○企業でも大幅な人員削減がある中で、どうやって質を保てるか日々試行錯誤している。一方で行政の中の実態がわかっているわけではない中での意見を言うのは厳しいと思う。

○組織のパフォーマンス向上に向けたマネジメントが一番重要で、そこが今どうなっているのか、掘下げるべきかある程度できているのか、現状を提示してほしい。

○行政は基本的にサービス業であり、市役所としてその中で市民に対しての成果志向とはどういう考えなのかという論点をしっかり示してほしい。

○専門家ではなくても理解できる資料を用意して頂ければ、意見が言いやすいと思う。

○全部役所ではできないし、当然、市民がそれなりの責務をもって一緒にやりましょうということは最終的には必要となってくるということは、理解している。具体的なことを打ち出して頂ければ、話はしやすいのかなと思う。